

こども会議のとりまとめ結果

平成 21 年 10 月

平成21年度新居浜市小・中学校子ども会議議事録

日 時：平成21年7月26日（日）10時～12時

場 所：ウイメンズプラザ

議 題：「魅力ある新居浜市、ずっと暮らし続けたい新居浜市」

協議の仕方

- ・①～⑥のグループに分かれ、司会、記録者、発表者を決め、40分程度話し合いを行う。
- ・新居浜市の問題点、第五次新居浜市長期総合計画への提案、そのことでこんな新居浜市になる、こども夢未来基金への活用の4点についてグループ毎にまとめたものを発表する。

グループ分け

- ①環境美化 ②公園・ふれあい ③福祉 ④安心・安全な生活、学校生活 ⑤
スポーツ、文化、芸術 ⑥新居浜の活性化、就職・労働

①環境美化

新居浜市の問題点（提案含む）

- ・校舎の屋上や運動場を芝生化すると学校が涼しくなる
- ・駅前に花を植える。木を植えるイベントを行う
- ・エコキャップ運動を学校単位で新居浜市全体で推進し、ワクチンを世界に届ける
- ・使用済の油を回収し、固めて石鹸にする
- ・ごみを拾う活動を広げる、川や街を学校できれいにする
- ・リサイクルをすると費用がかかるため、ごみを減らす方がよい
- ・自然保護では川をきれいにするために下水を流さないようにする
- ・緑（木や花）を増やす。特に駅前には花を植える
- ・エコキャップ運動を進め、世界の子どもにワクチンを届ける
- ・山に木を植える
- ・学校にポスターを貼る

第五次新居浜市長期総合計画への提案

- ・緑を増やし、駅前に花を植える
- ・ペットボトルのキャップを回収し、ワクチンを世界に届ける（学校単位・市全体で行う）

- ・リユース食器をイベントで使用する
- ・川の整備のためにごみを拾い、山に木を植える

こんな新居浜市になる

一人ひとりの環境意識が高まり、ごみゼロ、エコのまちになる

こども夢未来基金への活用

- ・小中学校に図書を増やしてもらい、もっといろいろな本が読めるようにする

②公園・ふれあい

新居浜市の問題点（提案含む）

- ・公園が整備されていないところもあり、ごみが多いところや利用者少ない公園がある。また、このことから老人とのふれあいが少なくなっている。

第5次長期総合計画への提案

- ・老人ホーム、まちの近く、山の近くなどいろいろな場所に多目的な公園や自然と触れ合うことのできる公園をつくる
- ・木をたくさん使ったり、小さな湖をつくる
- ・屋上などの施設をPRする
- ・今ある公園を点検整備し、ごみ捨て防止ポスターを貼る
- ・えひめこどもの城のような遊園地をつくって欲しい

こんな新居浜市になる

お年寄りとの交流が増え、子どもたちがたくさん遊ぶことができるまちになる

こども夢未来基金への活用

- ・学校の設備や図書を買ったり、学校のいろいろなものが壊れているので修繕に使う

③福祉

新居浜市の問題点（提案含む）

- ・障害者が使用しにくい施設・設備が多い
- ・幼児・児童が安全に遊べる公園が少ない
- ・小・中学生が高齢者とふれあいの機会が少ない

第5次長期総合計画への提案

- ・道路手すり、休憩ベンチ、点字ブロック、スロープを整備する
- ・子どもが安心して預けられる施設を整備する

こんな新居浜市になる

安全に障害者が外に出て生活ができ、児童、保護者が共に安心して生活することができ、高齢者も安心して活発に生活できるまちになる

こども夢未来基金への活用

- ・老人ホームを整備する
- ・バリアフリーの活性化
- ・お年寄りのためのベンチや子どものための遊具を整備する
- ・児童施設の設備の充実を図る
→もっと市の人とふれあいができ、自らの成長につながる幅広い小中学校生活が可能となる

④安心・安全な生活、学校生活

新居浜市の問題点（提案含む）

- ・医療機関が少ない
- ・自転車道が整備されていない
- ・交通安全、街灯が少ない

第5次長期総合計画への提案

- ・医療機関を増やす
- ・他校との交流の場をつくって欲しい
- ・自転車道の整備、交差点等へのミラーを増やす
- ・学校ごとに意見箱を設置し、市長、教育長への要望を可能とする
- ・安全にウォーキングできる場をつくる
- ・自転車ゾーンの設置を行う
- ・明るい街灯を設置する

こんな新居浜市になる

いつも明るく安心できるまちになる

こども夢未来基金への活用

- ・ウォーキングできる場所を確保する
- ・自転車ゾーンを設置する
- ・明るい街灯の増設
- ・交差点へのミラーを増設する
→素敵な小中学校の生活ができる

⑤スポーツ、文化、芸術

新居浜市の問題点（提案含む）

- ・みんなと遊んだり、スポーツできる施設が少ない
- ・河川敷公園にトイレが少ない
- ・文化センターでのイベントが少ない

第5次長期総合計画への提案

- ・河川敷公園のトイレをきれいにする
- ・総合運動公園を建設する
- ・文化センターでの小・中学生を対象としたイベントを増やす

こんな新居浜市になる

スポーツや文化的な活動が盛んなまちになる

こども夢未来基金への活用

- ・文化センターでのイベントに野球選手（ラミレス）等の有名人を呼び、プロに指導してもらう
- ・美術館に有名な画家の絵を展示する
- ・図書館で朗読会を開催し、人を集める。また本を増やす
→楽しい学校生活を送ることができる

⑥新居浜の活性化 就職・労働

新居浜市の問題点（提案含む）

- ・就職できる場所が少ない
- ・大学で学んだことが生かせる職場が少ない
- ・活気ある企業が欲しい
- ・通勤距離を減らす
- ・松山のように水不足にならないように、工業用水を確保しておく
- ・イベントを増やして市を活性化させる

第5次長期総合計画への提案

- ・別子に自然体験できる施設を整備し、新居浜市全体にも増やす
- ・工業用水を確保する
- ・人材育成で産業を発展し、新居浜で活躍できる人を増やす
- ・イベントを増やす

こんな新居浜市になる

産業が発展して、住みやすく明るい新居浜市になる。職場が増え、人材育成によって学校が増え、連携が取れ、明るくみんなが楽しめるまちになる

(全体意見)

こども夢未来基金の活用について

- ・世界的に有名な音楽家（ピアニスト、オーケストラ）を呼ぶ
- ・お笑い芸人（はんにゃ、NON-STYLE、ノッチ、ゆっぺい、オードリー）を呼ぶ
- ・スポーツ選手（ヤクルト青木選手、メジャー岩村選手、阪神平野・赤星・金本選手、横浜内川選手）を呼ぶ
- ・アンジェラ アキのコンサートを行う
- ・県内出身者（友近、真鍋かおりなど）を呼ぶ